



「先生」という呼称について

今回は、学校における「先生」という呼称について、私見を述べます。

学校に長く勤務する中で、その使われ方について常に考えてきました。教育関係法規を見ても、教諭や校長、教頭に「先生」は付いていませんし、「先生」という言葉さえありません。しかし、学校では日常的に使われており、社会全体の中でも、違和感なく、よく使われている言葉です。

もともとは目上の人に対する尊敬を表す呼称だったものが学校教員に対する呼称として定着したものでしょうし、教員以外にも、医者や弁護士、政治家など、敬称として広く使われることもあり、決して悪い言葉ではないと思いますが、学校に勤めるものとして、注意しなければならない点もあると考えています。

* 職業は?・・・「小学校の先生です?」→「小学校教員です。」(※職名は「教諭・教頭・校長」です。)

* 「(同僚に対して) ~先生?」→「~さん!」(職名で呼ぶなら「~教諭」等)

教員同士が先生と呼び合うのは、学校という職場特有の光景で、さん付け等(一般的に十分丁寧な呼称)で呼び合うことの方が正しいと思っています。

とは言っても、長年職業的な敬称、習慣として定着していることであり、間違いとまでは言えません。また、子供たちにとっては「先生」ですので、子供たちの前で先生と呼び合うのは、子供たちの心情に配慮した結果で、自然なことなのかも知れません。家庭で夫婦がお互いを「お父さん」「お母さん」と呼び合うことと似ています。

* 「(子どもに対して自分のことを) 先生は・・・?」→本来は「私は・・・」

自分に対して敬称を用いるのは基本的には間違いですが、これも前述の通り、子供の立場を中心に考えて習慣化したものなのでしょう。子供たちや保護者から『~先生!』と呼ばれることも含めて学校特有の文化として定着しており、今さら問題視することではないでしょう。

ただし、特に対外的には、「本校職員が・・・」「校長は・・・」「教頭が・・・」等、「先生」という呼称を不適切に使うことのないよう、私自身、常に注意しています。

..... 切り取り線

子供たちのための、意見・提案・要望・校長に知らせたいこと など

2022年11月4日()年()組 児童氏名

※匿名でも結構ですが、御連絡が必要な場合等を考え、記名していただけるとありがたいです。

※担任に御提出いただいても、校長室前のポストに直接入れていただいても、校長に直接手渡していただいても、いずれでも結構です。

※メールでも随時受け付けております。kosaki-k@sendai-c.ed.jp (校長直通)